オイスカ関西のつどい2020

講演会 参加無料

＜とき＞
8月2日（日）午後2時～

＜ところ＞
国民会館 武藤記念ホール

講演会 15：00～16：30

講演タイトル 「耕す文化」の知恵を見直す

京都産業大学名誉教授（法学博士） 所 功 （78歳）

およそ人間が他の動物より優れている所以は、文化の知恵と文明の知識を両方とも備えているからであろう。まっとうな人間には、その両方が車の両輪のごとく必要なのである。

しかるに、近現代の日本では、ローカルな「耕す文化」よりもグローバルな「造られた文明」の方が進化しており価値が高い、と錯覚されてきた。そのために、生き方も考え方も軽佻浮薄となっているように思われる。

もしそうであるならば、再び「耕す文化」の知恵を取り戻し、どんな事態にも有縁の人々と共に対処できる工夫と努力をしなければならない。それには、今なお稲作も養蚕も続けられ、祈年祭・新嘗祭などを大切にされている皇室をお手本として、日本古来の「おかげさま・お互いさま」という良識を活用することが、大きな役割を果たすにちがいない。

オイスカレポート 14:05～14:50

「森林など生態系を活用した防災・減災（ECO-DRR）の取り組み」

公益財団法人オイスカ 海岸林再生プロジェクト担当部長 吉田俊通

当法人は1961年の設立以来、アジア太平洋諸国の各村落発展に向けた農業技術指導を続ける中で、各種の災害にも直面した結果、1980年から森林再生も並行して行ってまいりました。

今回は、その全体像とコロナウイルスへの対応状況、海外の経験を活かして宮城県名取市で取り組んでいる「東日本大震災復興支援 海岸林再生プロジェクト第1次10ヵ年計画（2011-020）」の現状をレポートします。

主催： 公益財団法人 オイスカ 関西支部

お申込み方法は裏面をご覧ください

オイスカ関西のつどい　令和2年8月2日（日）14:00～　　会場　国民会館武藤記念ホール

OISCA

オイスカとは

すべての人々がさまざまな違いを乗り越えて共存し、
地球上のあらゆる生命の基盤を守り育てようとする世界を目指して
1961年に設立されました。本部を日本に置き、
現在36の国と地域に組織を持つ国際NGOです

「子供の森」計画　３６か国で実施

フィリピン植林ボランティア派遣

東日本海岸林再生プロジェクト植林

オイスカ活動は会員の会費や寄付金で運営しています
あなたも国際協力活動に参加できます
ご入会をお待ちしています

＜申込方法＞

①紹介者から案内を受けた方　紹介者へお申し込みください。 紹介者から入場整理券をお受け取りください。

②その他の方 E=mail oisca-k@nifty.com 、 FAX 06-6244-9422 で受付します。

返信と入場整理券を送付いたします。当日は必ず整理券をご持参ください。

ＦＡＸ申込　０６－６２４４－９４２２
名前：　　参加人数：　　名
住所：
電話： FAX　：
本年は交流会はありません
お預かりした個人情報は本事業に関することのみに 使用しこれ以外の目的で使用することはありません

大阪市中央区大手前2-1-2　国民会館（住友生命ビル１２階）
地下鉄谷町線天満橋駅　３番出口から大阪城方面へ徒歩３分

新型コロナウイルス感染の拡大防止といたしまして、通常会場定員の50%以内で参加者募集を行います。
（入場整理券ない方は参加できません）

お問合せ先　（公財）オイスカ 関西支部　大阪市中央区南久宝寺町4-4-1 TEL. 06-6244-2366